

# 第4回岩国市総合計画検討会 議事概要

## ■ 開催日時・場所

令和4年8月16日（火）14:00～16:00  
岩国市役所 3階 31・32会議室

## ■ 次 第

- 1 開会
- 2 座長あいさつ
- 3 前回の検討会における意見への対応について
- 4 序論・基本構想について
- 5 基本計画について
- 6 その他
- 7 閉会

## 議事録

### 1 開会

---

### 2 座長あいさつ

---

座 長	前回貴重な御意見をいただき、それを事務局で整理していただいた。今回でおおむね固めたいと思う。パブリックコメント前の最終チェックとなるのでお願いします。
-----	---

### 3 前回の検討会における意見への対応について

---

#### （事務局説明）

座 長	御意見はないか。ご発言された委員の方々で異論はないか。
参 加 者	写真は出来る限り新しい写真にした方が良い。駅前東口についても古い写真のため、最も新しい写真に入れ替えた方が良いと思う。
事 務 局	承知した。

### 4 序論・基本構想について

---

#### （事務局説明）

座 長	御質問・御意見はあるか。今回は将来像の事務局案が複数あった。今回は皆様の御意見を受けて絞り込んで取りまとめた案としている。
参 加 者	9ページの沖縄線就航日について、平成28年の3月だと記憶している。再度確認してほしい。通年運航となった日を記載するのであれば、このままでもよい。
事 務 局	確認して分かりやすく記載する。

参加者 新聞に高校生の半分が岩国市から出たいという記事があった。また、市の施設を 200 施設ほど減らすという記事もあったが、こうした話も反映した形にするのか。

事務局 若者の定住については、高校生にアンケートを行い、その御意見を踏まえ将来人口推計として反映した。あくまで定住がかなった場合であるが、37 ページに記載している。

座長 37 ページの将来人口推計で、今の御質問は③の若者の定住が実現した場合の人口推計であるが、若者の定住に関するアンケートデータとしてはどこに記載があるか。

事務局 昨年実施したアンケートであり、参考資料として巻末に内容を記載する予定である。公共施設については、17 ページに公共施設の更新にかかる費用を掲載している。資料 3 の基本計画 135 ページ、施策 7-2-1 行政経営の推進③公共施設マネジメントの推進において、公共施設の質と量の最適化を図るという形で取組を記載している。

参加者 5 ページの一番上の「新型コロナウイルス感染症は・・・」の文言について、時期を記載した方が良いのではないか。この計画は 10 年使うため、数年後には新型コロナウイルス感染症がいつ頃始まったのか、分かりにくくなるのではないか。また、「現在」という表現についても、現在の年度を想定していると思うが、長期にわたって活用するものであれば、「現在」をなくすか、表現を工夫されると良いと思う。

事務局 状況によって変わってくることについては、いつ頃始まったか分かった方が良くと思うため、時期等を整理して記載する。

参加者 5 ページは産業・雇用となっているが、雇用の問題に関して記載されていないのでは。

事務局 雇用そのものを明確に記載しているものではないが、テレワークやコワーキングスペース、シェアオフィスをはじめとした働き方の変化という表現が雇用につながっており、また、担い手という点も雇用に関連した記載としている。

参加者 介護保険制度は、高齢者が少しでも快適に過ごせるという面もあるが、特に地方にとっては、介護保険に関わる雇用が確保されたという意味で大きな影響を与えたと思う。これから高齢者が更に増えていくため、いかに社会保障を維持するかがテーマになる。そうした点からも、今以上に介護関係での雇用が求められると思う。そうしたところを市として認識が薄いのではないかという印象である。

事務局 介護関係は、4 ページの健康・医療・福祉のところになる。「多くの医療福祉の人材が必要になることが見込まれている」という記載がある。24 ページの主要課題や基本計画又は施策の部分で反映するなど検討したい。

参加者 新しく設定された基本目標 7 に、デジタルの関連を組み込んでいただいた。その中で行政経営・デジタル改革を見出しとして記載しているが、基本目標 7 には「市民サービス」「行政経営」という記載があり、行政経営では、デジタルという文言が見当たらない。市民サービスでは、デジタルを活用していくとの記載があるが、デジタル改革に関しては行政側の感覚で書かれているのではないかと思う。基本計画案にはそうした記載がされているので、行政経営にもデジタル改革といった内容が必要ではないか。

事務局 市民サービスもデジタル化が必要であり、庁内の内部業務についてもデジタル技術を活用した事務の効率化や省力化が必要になってくる。46 ページの行政経営の中にデ

座長 | デジタル改革の内容が読み取れないとの御指摘であり、記載を追加する。  
| これまでの御意見を踏まえて、基本構想については事務局に調整いただきたい。

## 5 基本計画について

### (事務局説明)

参加者 | 32 ページの観光客数に関する達成度を測る指標について、2020 年以降はコロナが流行し急激に少なくなった時期である。2019 年にはおそらく観光客数は 300 万人以上だったかと思うが、それをアピールして入れていただいた方が良いのではないかと。

事務局 | 参考値として掲載する方向で調整する。

座長 | 63 ページの持続可能な公共交通の構築について、記載されている文言はこれで良いが少し情報が古い。自動運転やMaaSといった情報通信技術を使った新しい取組について、新しい公共交通の在り方を主な取組例として入れていただくと良い。

事務局 | どのような形にするか検討し、掲載する方向で考える。

参加者 | SDGs のマークがあるが、最後に解説記述があると良い。

事務局 | 総合戦略には巻末に説明を入れており、総合計画においても巻末に解説を入れたい。

参加者 | 国土強靱化地域計画についても解説があると良いと思う。

事務局 | 巻末に記載を検討する。

参加者 | 前回座長からスマートシティについて導入が必要という話もあったが、デジタル田園都市構想という部分が具体的にどういったところに反映されているか教えていただきたい。行政手続のオンライン化は進めていただいているため良いと思うが、それだけではなくまち自体が潤うためのDX化がどうなのか。これからインターネットの形が大きく変わるだろうという動きがある中で、岩国市の歴史遺産がたくさんあり、それを対外的にアピールすることもできる。地方活性化の視点から、デジタル資産の活用が文言として入っていると良いと思った。DX化の具体案がどういったところにあるのか。

座長 | 基本構想という全体像としても少し関わる御意見だと思う。情報通信技術を使った新しい取組として、いくつかのところにはスマートシティやICT、デジタル等の文言がちりばめられているが、大きな意味として位置付けるなど、何か御指摘はあるか。施策体系の中で基本目標が7つあるが、どこに文言を入れると一番しっくりくるか。

参加者 | 全てにDX化は必要なエッセンスのため、この中で絞り込むことは非常に難しい。

座長 | 新技術や新しい取組の部分が若干薄くなっており、文章の中に溶け込んでしまって表立って見えないところもどかしいと私も感じている。

事務局 | 全体像としては、新しい基本目標7が全てにまたがる横断的な施策と考えている。現在の潮流としては、先端技術も活用していく必要があるとは記載している。具体的な取組では、資料3の39ページに中小企業で先端技術の活用ができる人材育成などは記載している。また、基本目標7では、デジタル化推進計画という個別計画を作るようになっており、そこで具体的な取組については下の段階で考えていく予定である。御指摘の

通り、あまり強く打ち出している部分ではないので、読み取りにくいとは思う。

参加者 全体的な話であるため、漠然とした表現になると思う。宇部市や周南市は、様々な産業関係の人たちを呼んで講演会を開くなど積極的に取り組んでいる。全ての項目に対してDXは欠かせないし、最大効率を図れる施策だと思うため、全ての分野においてそうした意識があることが大事だと思う。

座長 この中に入れるとすると、基本目標7が横断的に全てをカバーしていると思う。場合によっては7-3という施策目標を新たにつくって、デジタル等で市民の情報の向上と行政の効率化を図るといった記載があると良いと思った。

参加者 幹線道路網の整備について、赤字表記の道路は何年も前から課題となっているが、達成度を測る指標に改良済みの都市計画道路が2027年度でも今から2.4kmしか伸びないとある。赤字で書いてある道路は一切完成しないということか。

事務局 今後進んでいくものではあるが、令和9年度までに都市計画決定を受けて整備される。記載している道路は国道や国が主体となっていることもあり、市の方では進捗を管理することは難しい。

座長 日本各地で50年以上未着手の都市計画道路の見直しも同時に動いており、現在取り組んでいる事例もあれば、長期間できない道路に対する対応も含まれている問題であり、総合計画の中で決めることは難しい問題だと思う。記載している目標数値は、都市計画マスタープランで示されている数値か。関連部署と調整をして出した数値か。

事務局 こちらの数値は、所管する部署が見積もった数値を位置付けている。

座長 全体的に評価指標として別にとれる指標があると思った。

参加者 岩国市の道路について、強い水道管に入れ替えるなどしていると思う。幹線道路よりも生活道路である市道の状態が非常に悪く、お年寄りや足の不自由な人が歩きにくいところが多くある。大きな幹線道路ももちろんだが、生活道路についても整備してほしい。61ページに生活道路の整備の記載はあるが、あまり改善の兆しがない。なるべく実施されることを願う。

参加者 デジタル化やDXという言葉を使いやすく説明するとどのような言葉が適切か。

参加者 DX化は、デジタル技術を活用した業務の効率化という表現になるかと思う。

参加者 例えば、アナログで行っていた書類の手続等について、電子ハンコ等のシステムを導入すれば、今までハンコを押すだけのための出勤や、ハンコをもらう人、押す人といった余計な手間を省くことができる。買い物もスマートフォンがあればできる。チャージの仕方を教える人や環境をつくっていくことが必要である。教える人がいなければ、スタートアップを誘致していこうという話にもなる。都会よりも環境の良い所で仕事をしたい人は多くおり、岩国市は理想のまちである。家賃の補助等を市から得て、そこでデジタルを活用して仕事をし、その人たちがまちに出て交流をすることにより、みんなのリテラシーも上がって税金も納めてくれる。こうしたことも重要だと思う。

参加者 DXの定義は様々だが、データとデジタル技術を使って、住民のサービスの質を向上させ生活を豊かにする取組のことと説明している。そうした表現が良いのではないか。

- 参加者 society5.0についても、デジタルに詳しくなくても同じようにデジタルの恩恵を受けることができ、暮らしが豊かになると考えられる。しっかり理解している人がサービスを安心して提供していく環境をつくっていくことが必要である。
- 参加者 用語解説は入れるのか。
- 事務局 用語集は前回も入れている。新しい言葉が出てくるため、分かりやすく市民の方に理解してもらえるようにしたいと考えている。
- 参加者 様々な施策を進める中で、やはり財源は必要になる。色々なところで財源不足によって、長い間維持していくことを想定してつくられたはずのハコモノの維持も難しくなっている。様々な施策を進められて、それにより産業・観光が上手くいけば財源確保にもつながると思うが、人口減少一つをとっても歯止めが掛かっていない。これから老朽化した施設も管理できなくなる。新しいことをするにもお金がかかる。色々看板を掲げても財源がなければ全て中途半端に終わってしまう。これだけのことをするのであれば、財源を確保するような取組や政策をもっと打ち出していく必要があると思う。将来を不安視するような若者が多くなっている風潮の中で、岩国市にいれば将来明るいと感じさせるような取組や財源確保の方針等がなければ、多くの問題が山積されている状況であり、本当に大丈夫なのかという気持ちを抱えているのが本音である。基地があることで、市民がどれほど恩恵を受けているのもよく分からない。何とか財源や施策が上手くかみ合うような取組ができることが一番良いのではないかと思う。財源確保が見えないため、本当にこれでうまくいくのかという気がする。
- 座長 おっしゃる通りである。財源を確保するためには、シンプルに言うと雇用確保と経済活性化と言われている。生産年齢人口を増加させて雇用を確保し、岩国市の基幹産業を成長させるということになる。これは収入の部分である。それによって税収が安定すると支出に関する様々なサービスを提供することができるという収入と支出のバランスの問題である。例えば、コンパクトシティはどちらかというところと支出を少なくするために資源を集約させる施策である。総合計画の中には基本目標が7つあるが、サービスを提供する部分と雇用を確保して経済を活性化し人を回していく、若い人たちを介入させてここで生活基盤をつくっていくことが必然的に財源の安定化につながると理解している。一文で答えを記述することは難しいが、総合的に総合計画の中で実現するための道筋、あるいはビジョンを掲げていると御理解いただくと良いのかと思う。
- 事務局 まず税収を上げるためには、基本目標2の産業の充実があらうかと思う。その上で福祉の体制をしっかりと固めていき、コンパクトシティといったまちづくりも必要である。当然人材育成や教育にも力を入れていく。施策を総合的に組み合わせることによって人口減少を抑制することがこれから重要だと思う。人口増加に向けた具体的な策がない中で、岩国市としては、力を入れていくこと、維持していくこと、公共施設については維持できる範囲で精査していく必要がある。メリハリをつけて、重点的な施策には財源をかけていき、収入と支出のバランスをとることが市としても重要と考えている。
- 参加者 新しい技術は、国の助成金といった国からの予算も出やすいと思う。
- 事務局 国の財源や基地の交付金等も活用することが重要になる。

参 加 者	この案を基にパブリックコメントをされるのか。そのあと検討会を開くのか。
事 務 局	パブリックコメントを9月に予定しており、そこでいただいた御意見を踏まえて修正し、パブリックコメント後にそれを皆様に見ていただく機会を予定している。
参 加 者	計画の中に市民や地域の役割等の記載もあるため、パブリックコメントの時点で市民の皆様に見ていただく必要があると思っている。どのような形で市民に届けるのか。当然ホームページには掲載すると思うが、他に方法があるか知りたい。参加者として身近な市民にどのように届けられるか、方法があれば教えていただきたい。
事 務 局	ホームページや広報紙にも掲載する予定で、それにより周知をさせていただく。市のLINEやメール等の媒介手段を通して情報を届けていきたいと思っている。
座 長	取りまとめた内容については、パブリックコメントで広く市民の御意見を聴くという形にはなるが、皆様も関連団体に持ち帰り、パブリックコメント中だとPRして、多くの御意見を集めて、最終的に整理をしていくことになる。パブリックコメントがほとんどないと非常にさみしいので、ぜひ参加者の皆様にも御協力いただきたい。
座 長	おおむね御意見をいただいたため、事務局は整理、修正をしてパブリックコメントに挑んでいただきたい。

## 6 その他

---

座 長	考えを述べておきたい方はおられるか。特にないようであれば事務局にお返りする。
事 務 局	次回の開催については、9月にパブリックコメントを実施した後、10月に予定している。日時は、10月14日金曜日18時から開催させていただきたいと考えている。次回が最後の検討会となり、最終的な総合計画の案について協議、検討をお願いしたい。
座 長	本日は、多岐にわたって御意見をいただき、お礼を申し上げます。パブリックコメントが実施されるため、その間も皆様も一市民として御意見があれば投稿することは可能かと思う。また、周囲の方々にも声を掛けていただき、多くの方に見ていただいて、皆様の総意の中で総合計画をまとめていただければと思う。

## 7 閉会

---

以上